



## 食の安全性と機能性に関するセミナー



植物性食品に広範に含まれており、機能性が着目されるフラボノイドの体内動態や生理機能について造詣の深い研究者にお越しいただき、セミナーを開催いたします。奮ってご参集ください。

### 日時

平成 19 年 7 月 9 日(月) 17:30 ~ 19:30 セミナー  
20:00 ~ 22:00 懇親会

### セミナー

#### 食事由来フラボノイドの吸収代謝機構

17:30 ~ 18:20

室田佳恵子 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

フラボノイドはポリフェノール的一种で、植物性食品中に広く存在する低分子化合物であり、抗酸化、抗炎症、抗がんなど種々の疾病予防につながる作用を発揮することが期待されている。フラボノイドの機能は各分子のもつ特有の構造に依存しており、このことは生体利用性においても例外ではない。そこで本講演では、各種フラボノイドの構造が吸収代謝にどのように影響するかについて、腸管細胞での過程を中心に概説したい。

#### 大豆イソフラボンの代謝と機能性・安全性

18:20 ~ 19:10

上原万里子 (東京農業大学応用生物科学部)

大豆イソフラボンは立体構造が女性ホルモンのエストロゲンに類似しているため、エストロゲン受容体に結合するが、組織特異性を持ち、組織によりエストロゲン様作用、抗エストロゲン作用を種々の割合で発揮する天然の Selective Estrogen Receptor Modulator (SERM) である可能性が示唆されている。本講演では、主要イソフラボンの生体内動態と Daidzein の代謝産物である Equol の機能性を中心に概説し、昨今話題となった内閣府・食品安全委員会によるイソフラボンの安全性評価の妥当性についても言及する。

#### 総合討論

19:10 ~ 19:30

会場：神戸大学研究基盤センター・アイソトープ部門 1 階セミナー室  
(兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1)

### 懇親会

セミナー終了後(概ね 20:00~22:00)、会費 4000 円

懇親会にご参加希望の方は 7 月 2 日までに福田までご連絡ください。

主催：食の安全・安心科学センター

共催：戦略的・独創的な研究プロジェクト事業「食品の機能性・安全性を志向した戦略的教育研究」、自然科学研究系先端融合研究環重点研究チーム・ヘルスバイオサイエンス研究、ICPH 実行委員会

後援：六篠会

連絡先：食の安全・安心科学センター 福田伊津子

内線 5 8 7 3、E-mail: itsuko@silver.kobe-u.ac.jp

